食肉通信
発行所
株式会社食肉通信社
大阪市西区西本町3-1-48
西本町ビル　〒550-0005
TEL(06)6538-5505　FAX(06)6538-5510
振替口座 00900-1-59742
東京支社　東京都中央区日本橋小伝馬町
18-1 ハニー小伝馬町ビル　〒103-0001
TEL(03)3663-2011　FAX(03)3663-2015
九州支局　福岡市博多区古門戸町
3-12 やま利ビル　〒812-0029
TEL(092)271-7816　FAX(092)291-2995
㈱食肉通信社　2024

香港の展示会に出展

促進協会が　6輸出協一堂に

一般社団法人日本畜産物輸出促進協会は8月15～17日にかけて、香港コンベンション&エキシビジョンセンターで開催されたアジア最大級の食の見本市「Ｆｏｏｄ　Ｅｘｐｏ　ＰＲＯ　２０２４」（主催＝香港貿易発展局）にオールジャパンで出展した。

世界各国から訪れた食肉流通業者や外食・小売業者らに対して、日本産畜産物に対する認知度向上と輸出拡大を図るため、日本産の畜産物（牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵、牛乳乳製品、食肉加工品）の特長や品質情報の提供と試食会などを実施した。食肉加工品を含めた6部門の全輸出協議会が一堂に会するのは初めて。

会場ではステージでのセミナーや実演、ブースでの展示を通して、日本産畜産物を紹介。さらに調理実演や試食を提供した。初日には、川島俊郎専務理事が日本産畜産物の優位性や特長を紹介し、さらに各協議会の特色や品質情報を説明した。特に牛肉輸出協議会のブースでは、１００㌔を超える多様な和牛の部位を用意。常時試食が行われ、多くの来場者を集めていた。

２日目には坂本哲志農林水産大臣が会場を訪れ、目の前で焼き上げたＡ５ランクの和牛サーロインステーキを試食。牛肉輸出協議会の植村光一郎理事が和牛のマーブリングスタンダード、肉の色沢、脂肪の質や肉質のキメなどについて説明した。

坂本農相は「日本が誇る和牛は日本産農林水産物輸出の先導役として掲げられており、輸出目標達成に向けて尽力していただきたい」と激励の言葉を贈った。さらに坂本農相はチュック・ウィンヒン香港特別行政区行政長官と会談。

日本産農林水産物・食品の輸出拡大に向けた取り組みを紹介したほか、会場ではトップセールスを行い、日本産畜産物をＰＲした。

和牛サーロインステーキを試食する坂本農相